

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |    |            |
|----------------|-------------|----|------------|
| ○事業所名          | みどりのき       |    |            |
| ○保護者評価実施期間     | R7年 10月 24日 |    | R7年 11月 7日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 17 | (回答者数) 13  |
| ○従業者評価実施期間     | R7年 10月 24日 |    | R7年 11月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 9  | (回答者数) 9   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年 12月 1日  |    |            |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること   | 工夫していることや意識的に行っている取組等        | さらに充実を図るための取組等               |
|---|--|------------------------------|------------------------------|
| 1 | 個々の特性に応じた丁寧な支援の実施<br>保護者評価において、「子どもの特性理解」「個別支援計画に沿った支援」「適切な対応」について高い評価をいただいている。アセスメントを基にした支援計画の作成と、職員間での共有体制が確立されていることが強みと考える。 | 子どもの状況に応じた活動内容や季節行事の工夫。      | 保護者への説明や情報提供の迅速化・わかりやすさの向上。  |
| 2 | 安心・安全で清潔な環境整備<br>室内の清掃や衛生管理を徹底し、活動スペースの構造化やパ可動式吊り戸の活用など、落ち着いて過ごせる環境づくりを行っている。保護者からも安心して利用できるとの評価をいただいている。                      | 法令基準を上回る職員配置による安全確保と丁寧な支援。   | 地域との交流機会の構築。                 |
| 3 | 職員間の情報共有と研修体制の充実<br>日々の申し送りや記録共有を通して支援内容の統一を図るとともに、毎月の研修を実施し専門性の向上に努めております。支援の質を継続的に高める体制を整えています。                              | 定期的な自己評価・研修の実施による支援の振り返りと改善。 | 第三者評価の導入検討など、外部視点を取り入れた質の向上。 |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること      | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域交流の機会が十分とは言えない点。                              | 安全面や感染症対策の観点から交流機会を限定してきたこと。                                | 小規模・段階的な地域交流の実施の検討。   |
| 2 | 第三者評価が未実施である点。                                  | 外部の客観的視点による検証や助言を受ける機会が十分に確保できていないこと。                       | 外部評価や法人内での相互点検の導入検討。  |
| 3 | ペアレントトレーニングが未実施であり、保護者向けの体系的な支援プログラムが整備されていない点。 | コロナ禍以降、保護者支援の一環としてのペアレントトレーニングが未実施であり、家庭支援の体制が十分に体系化されていない。 | ペアレントトレーニングの導入を検討し、保護者が家庭で活用できる関わり方や支援方法を学ぶ機会を設けることで、事業所と家庭が一体となった支援体制の充実を図る。 |